

令和8年度 一宮市立葉栗小学校

1 校長 河合 洋一

[校章]

2 所在地 〒491-0132 愛知県一宮市大毛字南出 30 番地
 電話 0586-28-8706 FAX 0586-51-1282
<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2310133>
 E-Mail : haguri-e@city.ichinomiya.aichi.jp



3 交通案内 名鉄バス 名鉄一宮駅バスターミナル 3番乗り場
 山郷西・一宮総合体育館行き 大毛下車南 100m
 自動車 東海北陸自動車道 一宮木曾川インターより 5分

4 学校規模
 学級数：通常学級 12 特別支援学級 3 合計 15学級
 教職員数：校長1 教頭1 教諭18 養護教諭1 栄養教諭1 非常勤講師3
 県事務職員1 事務職員1 用務員1 特別支援協力員3
 学校図書館司書1 ALT1 スクールサポートスタッフ1 計34名
 児童数：男子165名 女子168名 (令和8年4月現在)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	あすなろ	総児童数
43名	44名	58名	54名	62名	56名	16名	333名
2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	3学級	総学級数 15

5 本校の教育

(1) 本校区の概要

本校は、一宮市北東部に位置し、明治44年に創立された歴史と伝統を誇ります。校区北側には、一宮総合体育館や138タワーパークなどがあります。岐阜県との県境には木曾川が流れ、田畑や緑も残る自然豊かな地域です。



(2) 教育目標

<2010年度100周年記念、本年度116周年>

知・徳・体の調和がとれ、夢に向かって挑戦する「未来を拓く子ども」の育成

【めざす子ども像(葉栗小学校 よい子のめあて)】

○自ら学び、考え、行動する子(知)	…………… 人の話をよく聞く 深く思考する 主体的に行動する
○思いやりのある子(徳)	…………… 礼節を重んじる 相手を思いやる
○丈夫でたくましい子(体)	…………… 命を尊ぶ 健全な心と身体を養う

【めざす学校像】

合言葉「ハッピースマイル」のもと「学校にかかわるすべての人が笑顔になれる学校」をめざす

(3) 教育目標実現のために(経営方針)

ア 確かな学力
 育成プラン
 (知)

- ① わかる、できる、身につく授業づくりをすすめます
- ② 言語活動を充実させた協働的な学びを充実させます
- ③ 個に応じた適切な支援と指導を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育てます
- ④ 個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けたICTの効果的な活用をすすめます

イ 豊かな心
 育成プラン
 (徳)

- ① 笑顔で生活できる学級・学校づくりや心の居場所づくりをすすめます
- ② 自己有用感・自己肯定感を高め、互いを認め合い尊重し合う教育をすすめます
- ③ あいさつを奨励し、自他の心や命を大切にする教育をすすめます

ウ 健やかな体
育成プラン
(体)

- ① 生涯にわたって運動に親しむために、指導の充実を図ります
- ② 望ましい生活習慣の定着を図り、健康な生活を送るための基礎を育てます
- ③ 安全な生活を送るために、指導の充実を図ります

エ 信頼される
学校づくり
プラン

- ① 教職員の資質能力の向上を図り、指導力の向上をめざします
- ② 学校・家庭・地域との連携・協働をすすめます
- ③ 安全・安心な学校づくりをすすめます
- ④ 子どもたちと向き合うための、教職員の働き方改革をすすめます

(4) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力育成プラン<実現のために>

- ① 基礎学力の確実な定着のために、指導方法の工夫と改善を図ります。
 - ・小中連携した学習マナー・ルールの徹底
 - ・朝のチャレンジタイムでの基礎学力向上と学習の習慣化
 - ・ICT機器・タブレット端末の教科横断的・効果的・協働的な活用
 - ・部分的教科担任制(交換授業)の実施
 - ・授業力向上のための現職教育の推進(外部講師の招へい)
(各教科における学びの振り返りの充実、効果的な導入、意図的指名、他者との関わり合い)
- ② 思考力・判断力・表現力を高めるために、言語活動の充実を図ります。
 - ・言語力の向上、新聞活用、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の育成
(他者との協働による課題解決、話し合い・文章記述・説明、発表する場面)
 - ・主体的・対話的で深い学びの推進(授業展開でのペア・グループ活動などの学び合いの場の充実)
- ③ 障害の種類や程度に応じた個別指導の充実を図ります。
 - ・ユニバーサルデザインの推進、校内教育支援委員会の充実、特別支援協力員、SC、SSW、外部機関との連携
- ④ キャリア教育の指導計画に基づき、自己のよりよい生き方を考えさせる学習の充実をはかります。



イ 豊かな心育成プラン<実現のために>

- ① 道徳科の授業では、児童が自己を見つめ、自分の生き方について考えを深めるための指導の工夫を図ります。
 - ・多様な道徳的価値観を引き出す展開、価値の主体的自覚を促す発問
 - ・道徳的実践力を高める…異学年交流、特別支援学校との交流、社会福祉実践活動
- ② 読書活動を通して、本好きな児童を育てます。
 - ・子ども読書のまち、ほたる号、学校図書館司書との連携
- ③ 望ましい人間関係力の向上をめざします。
 - ・児童理解と人間関係の把握に努め、情報の共有化と全校体制での指導を強化・徹底
 - ・全校体制でのいじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応・児童一人一人を大切にした対応
 - ・あいさつ運動、「スクールライフノート」の活用、ここにアンケート、相談週間、Q-Uの結果を生かした学級づくり、関係機関(SC・SSWを含む)との連携、ピア・サポート推進
- ④ 一宮市や日本の文化・歴史、諸外国の文化などに対する理解を深めます。
 - ・地域の伝統文化継承(島文楽)、観劇会、英会話指導講師(ALT)活用
- ⑤ 環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)を推進し、充実を図ります。
 - ・エコスクール運動、ヤゴ救出作戦、観察池の整備、一人一鉢等

ウ 健やかなからだ育成プラン<実現のために>

- ① 体育の授業や体育的行事などの運動に親しむ機会を通して、体力づくりに努めます。
 - ・体づくり運動、全校統一の体力づくりメニュー活用、外遊び、スポーツマンクラブとの連携
- ② 児童への指導や保護者への協力の呼びかけを行い、「早寝・早起き・朝ごはん」定着、メディアコントロール週間の実施を図ります。
- ③ 危険予知トレーニング(KYT)や多様な想定での避難訓練など安全意識を高める指導を継続的に行い、自分の命は自分で守ることができる児童を育てます。
- ④ 食後の歯磨き習慣を定着化し、歯を大切にしている児童を育てます。

エ 信頼される学校づくりプラン＜実現のために＞

- ① 「学校にかかわるすべての人が笑顔になれる学校」にするために、学校・地域・保護者とともに育てる「共育」のもと創意工夫を生かした教育活動を進め、葉栗っ子としての誇りを育みます。
 - ・「あいさつ・しんせつ・いのち」の励行
 - ・見守り隊、PTA、地域諸団体との連携
- ② 教職員の多忙化解消と働き方改革を推進します。
 - ・業務改善の推進
(保護者連絡ツールの積極的活用、学期始め・学期末の5時間授業、タブレット端末による情報の共有化等)
 - ・週日課の見直しによる授業後の勤務時間の創出
 - ・学年同士の交換授業による授業改善と業務の効率化
 - ・目標退校時刻の可視化による教職員のワークライフバランスの実現
 - ・多忙感を解消する心の働き方改革の推進
 - ・計画的に休暇取得できる体制づくり
- ③ 教職員がより信頼される存在になるように努めます。
 - ・職員同士のOJTやミニ現職による校内研修の充実
 - ・学校運営協議会、学校Webサイトの充実
- ④ 特色ある学校づくりをすすめます。
 - ・島文楽(再) ・特別支援学校交流(再)
- ⑤ 施設・設備の安全管理、非常時の危機管理体制の整備に努めます。
 - ・「安全を確認する日(12日)」「事故・けがゼロの日(26日)」、葉栗小見守り隊との連携深化
 - ・防災教育の充実と行政・地域防災との連携